

## ・エアロバルーンとは？

誰でも簡単に扱う事が可能な巨大なバルーン。ゴムではなくビニールクロス素材のバルーンは従来のゴム風船タイプのように空気密閉された「一発限り」の演出ではなく、送風機を用いてエアーを常時送り続ける空気循環方式を採用したバルーンです。

エアロテック社が特許を取得した新しい方式のバルーンは、本体を膨らませた後に、しばませる事無く、人や物を出し入れする事ができ、また、宴中何度でもお使い頂く事が可能です。

セットアップが完了した後は、紐を引っ張るだけで、前後きれいに割れますので、中に人を入れて登場させるようなシーンにおいてもスナップが押さえやすく、結婚式の各入場シーンを華々しく飾ります。



## どんなシーンに使う？

各種入場シーンはもちろんの事、膨らませた状態で、サプライズ用のプレゼントを隠しておいたり、カット用のケーキを登場させたり。また、バルーンリリース時等には、ヘリウム入りのリリース用バルーンを本体内部に多数入れておいて、新郎新婦用のリリースバルーンとしてお使い頂いても効果的な演出が期待できます。



また、本品は割った後に、再度膨らませる事が可能ですので、子供花束のお子様登場時や友人余興の登場時等に再利用する事も可能です。



上の丸い写真は、入場口のドアオープン時に新郎新婦が登場するシーンを並べた物です。約40秒で膨らみ、一瞬で割る事ができます。

直径は約3m。入場口(エアーロック部分)を含めると、奥行きは6m程度必要になります。割れた後の広がる部分を考慮すると設置箇所にはある程度の広さが必要です。

## ・設置手順

**01.** 同梱の部品はエアロバルーン本体と送風機、ホース以外に右の 01 の部品ホースバンド 2 本とジッパー（写真左の黄色い紐付きの物）が入っています。通常 2 回以上使わなければ、ジッパーを使う事はありません。

**02.** まずは、ホースを送風機に取り付けます。ホースの写真の部分にホースバンドを入れて、ホースを送風機に差込みます。差し込みが完了したら、ホースバンドのレバーを倒して、送風機からホースが抜けられないように固定します。レバーを倒した後、ホースを両手で引っ張り、抜けない事を確認して下さい。ホースが抜けそうな場合は、02 の写真の丸い囲み部分にあるスプリングが掛かっている穴をきつい方向へ調整直して下さい。

**03.** 02 で送風機との連結ができれば、次はホースの反対側とエアロバルーン本体をつなぎます。つなぎ方は 02 と同じで、ホースをバルーンの写真の部分に差込み（巾着袋のような形状の部分）02 と同じくバンドで固定します。こちらも、抜けない事を確認しておいて下さい。

**04.** 03 までの工程が終われば連結作業は完了です。送風機の電源を入れれば約 40 秒でバルーンが膨らみますので、中に人を入れられる状態になります。エアロバルーンは 2 層の構造になっており、球体のバルーン部分（以下バルーン）と出入りに使う直方体部分（以下エアーロック）があります。まずはエアーロックの写真の部分のジッパーを下まで下ろして、中に人を入れます。（この部分は開けても空気が漏れない構造になっています。）尚、送風はしたままです。

**05.** 04 で、エアーロック内に人が入ったら、エアーロックのジッパーを外から閉めます。この状態になればバルーン部分のジッパーを開けてもバルーンが萎まずに、バルーン内部に出入りができますので、ジッパーを下ろして、バルーン内部に入ります。バルーン内部に入った後、入った人の中からジッパーを閉めてもらいましょう。

尚、2 名以上が同時にバルーン内部に入る場合は、04 と 05 の工程を繰り返し、1 名ずつ順に入ります。最後の人がバルーンに入り終えたら、バルーンのリッパーを内部から上げた状態にしておいて下さい。送風機の電源は最後まで入れた状態です。

**06.** 05 でバルーンに人が入り終えれば、06 の紐を引っ張り、写真のように二股の部分の片側を閉めて、エアーロック内の送風を遮断します。この時、紐を絞りを終えたら、04 の長丸で囲んだ部分のビニールを捲って下さい。内側に 30cm 程度のジッパーがありますので、ジッパーを開けて下さい。この作業にて、エアーロック内部にある「柱」の部分の空気も完全に抜けて、バルーンだけを残した他の部分が全て潰せる状態になります。

**07.** 最後にバルーンとエアーロックのつなぎ目部分を一周しているジッパーを開けると「バルーンのみ」の状態になります。この時も送風機の空気は送ったままの状態にして下さい。後は 07 下の写真の通り、後ろに向けて紐を引っ張ります。紐はピンッと張った状態で待機し、割る時は勢いよく引っ張りましょう。

ちなみに、再度膨らませる場合は、全てのジッパーを逆の手順でつなぎ合わせるのですが、右の丸い写真のように、割れたバルーン部分を 01 のジッパーを左右どちらかの方向から差込んで引っ張ればバルーンも元通りに繋がります。返却時はこのジッパーを必ず入れ忘れないようにお願いします。

